

1 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和5年9月に「令和5砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」を公表した（詳細は2023年11月号参照）。

令和5砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：179万4000トン（前年度比0.7%増）

総供給量：175万9000トン（同0.2%減）

【加糖調製品】

消費量および供給量：41万8000トン（同2.7%増）

【異性化糖】

消費量および供給量：77万8000トン（同2.0%増）

表1 令和5砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		令和4砂糖年度 (実績見込み)	令和5砂糖年度（見通し）				合計	
			10月-12月	1月-3月	4月-6月	7月-9月		
消費量	分みつ糖	1,750	470.8	423.2	432.6	433.4	1,760	
	含みつ糖	33	6.9	10.8	8.7	7.3	34	
	合計	1,782	477.7	434.0	441.3	440.7	1,794	
供給量	国内産糖	分みつ糖	694	381.8	313.3	12.8	-	708
		含みつ糖	8	1.1	6.4	1.0	-	9
		小計	702	382.9	319.7	13.8	-	716
	輸入糖	分みつ糖	1,053	250.5	145.5	304.9	335.3	1,036
		含みつ糖	6	1.4	2.7	1.9	0.9	7
		小計	1,060	251.9	148.2	306.8	336.2	1,043
	合計	分みつ糖	1,747	632.3	458.8	317.7	335.3	1,744
		含みつ糖	14	2.5	9.1	2.9	0.9	15
		小計	1,762	634.8	467.9	320.6	336.2	1,759
	期末在庫		340	497.3	531.2	410.5	306.0	306

資料：農林水産省「令和5砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和5砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	令和4砂糖年度 (実績見込み)	令和5砂糖年度（見通し）				合計
		10月-12月	1月-3月	4月-6月	7月-9月	
消費量	407	90.5	85.2	119.3	123.3	418
供給量	407	90.5	85.2	119.3	123.3	418

資料：農林水産省「令和5砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」

注1：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和5砂糖年度の消費量は、令和4砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和5砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	令和4砂糖年度 (実績見込み)	令和5砂糖年度(見通し)				
		10月-12月	1月-3月	4月-6月	7月-9月	合計
消費量	763	171.2	179.3	221.8	205.7	778
供給量	763	171.2	179.3	221.8	205.7	778

資料：農林水産省「令和5砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し(第1回)」
注：標準異性化糖(果糖55%ものの固形ベース)に換算した数量である。

2 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

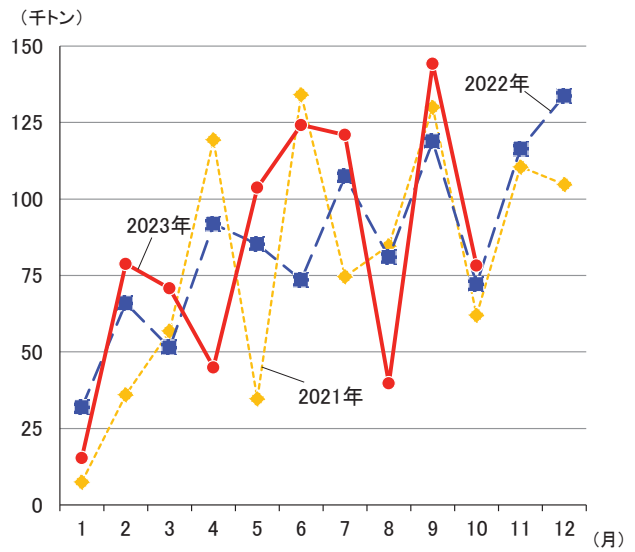
10月の輸入量は前年同月からかなりの程度増加

財務省「貿易統計」によると、2023年10月の甘しや糖・分みつ糖(HSコード1701.14-110)および甘しや糖・その他(同1701.14-200の豪州)の輸入量は、7万8264トン(前年同月比8.4%増、前月比45.7%減)であった(図1)。

輸入先は甘しや糖・分みつ糖については輸入実績が無く、甘しや糖・その他については豪州で、国・地域別の輸入量は次の通りであった(図2)。

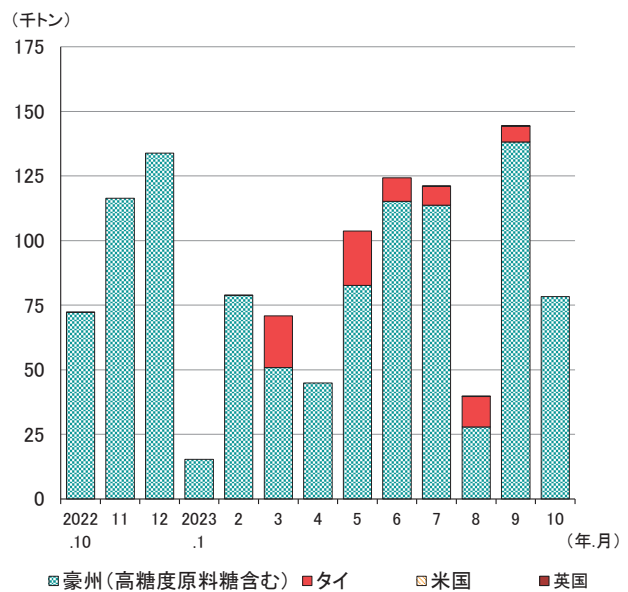
豪州 7万8264トン
(前年同月比8.4%増、前月比43.4%減)

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200(豪州のみ)

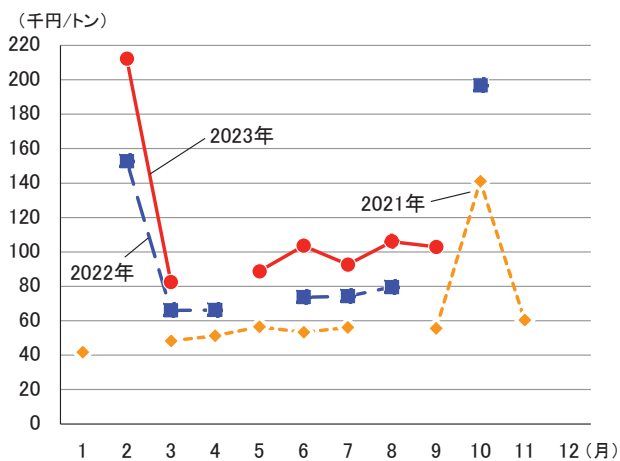
図2 粗糖の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200(豪州のみ)

2023年10月における甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、9万9883円（前年同月比32.0%高、前月比5.8%高）であった（図4）。

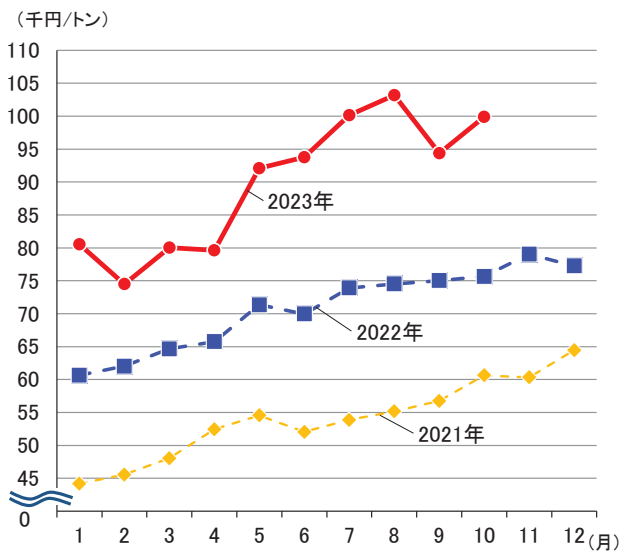
図3 粗糖（HSコード1701.14-110）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：2021年2月、8月、12月、2022年1月、5月、9月、11月、12月、2023年1月、4月および10月は輸入実績なし。

図4 高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

【含みつ糖の輸入動向】

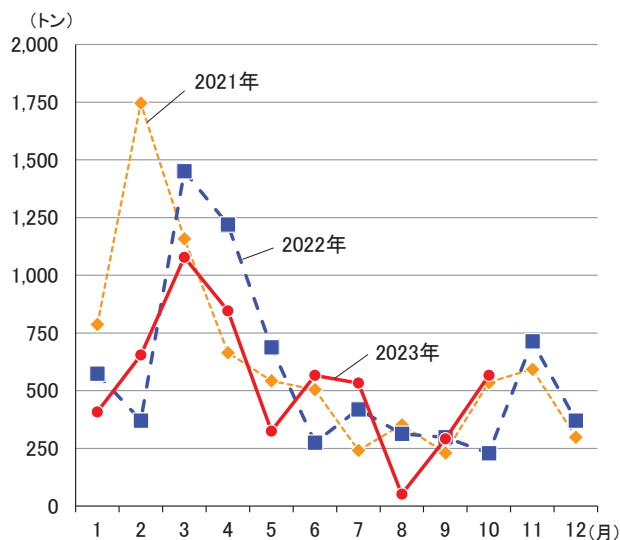
10月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2023年10月の含みつ糖（HSコード1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、566トン（前年同月比2.5倍、前月比94.5%増）であった（図5）。

輸入先は中国、フィリピン、インドおよびパキスタンで、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図6）。

中国	527トン
	（前年同月比2.4倍、前月比94.5%増）
フィリピン	36トン
	（同2.8倍、前月輸入実績なし）
インド	2トン
	（前年同月および前月輸入実績なし）
パキスタン	1トン
	（前年同月および前月輸入実績なし）

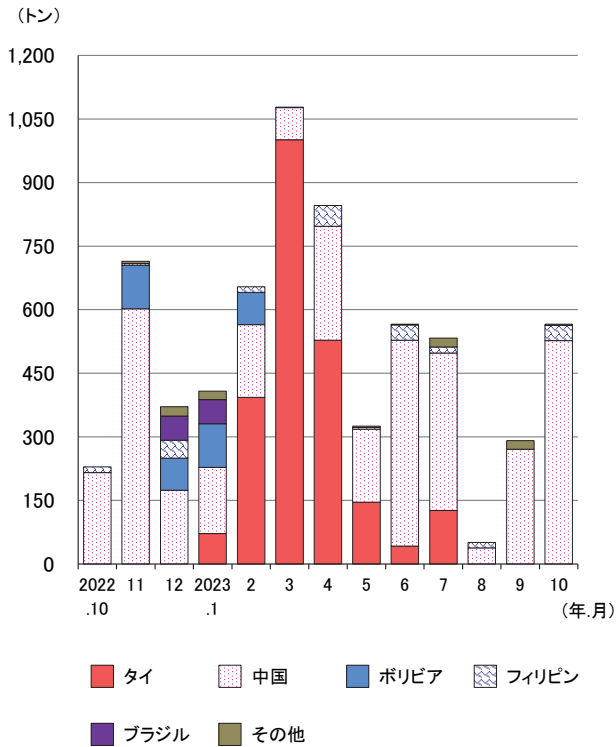
図5 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図6 含みつ糖の国・地域別輸入量の推移



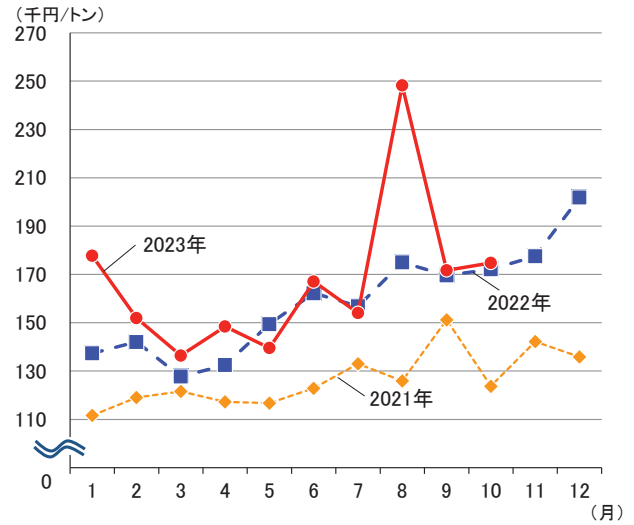
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2023年10月の1トン当たりの輸入価格は、17万4737円（前年同月比1.5%高、前月比1.7%高）であった（図7）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国	16万2326円
	（前年同月比2.2%安、前月比4.3%安）
フィリピン	33万7778円
	（同23.1%高、前月輸入実績なし）
インド	30万9000円
	（前年同月および前月輸入実績なし）
パキスタン	57万7000円
	（前年同月および前月輸入実績なし）

図7 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

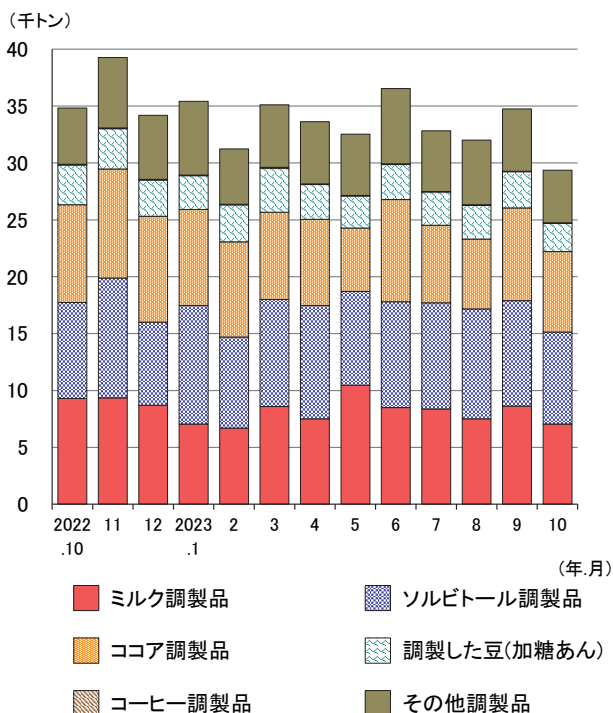
【加糖調製品の輸入動向】

10月の加糖調製品の輸入量は前年同月からかなり大きく減少

財務省「貿易統計」によると、2023年10月の加糖調製品の輸入量は、2万9366トン（前年同月比15.7%減、前月比15.5%減）であった（図8）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図8 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは、次の通り。

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213

コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246

調製した豆(加糖あん)：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2008.99-218、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品 品目別輸入量(10月)

(単位：トン)

区分	輸入量	前年同月比 (増減比)	前月比 (増減比)
ミルク調製品	7,055	▲ 24.2%	▲ 18.3%
ソルビトール調製品	8,086	▲ 4.2%	▲ 12.7%
ココア調製品	7,075	▲ 17.6%	▲ 13.2%
調製した豆(加糖あん)	2,461	▲ 29.5%	▲ 22.7%
コーヒー調製品	60	▲ 4.4%	62.9%
その他調製品	4,630	▲ 6.4%	▲ 15.5%
合計	29,366	▲ 15.7%	▲ 15.5%

資料：財務省「貿易統計」

注：端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 異性化糖の移出動向

11月の移出量は前年同月からやや増加

2023年11月の異性化糖の移出量は、6万1661トン(前年同月比3.8%増、前月比0.9%減)であった(図9)。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった(図10)。

果糖含有率40%未満 329トン

(前年同月比27.5%減、前月比12.3%減)

同40%以上50%未満 1万6129トン

(同2.8%減、同2.2%増)

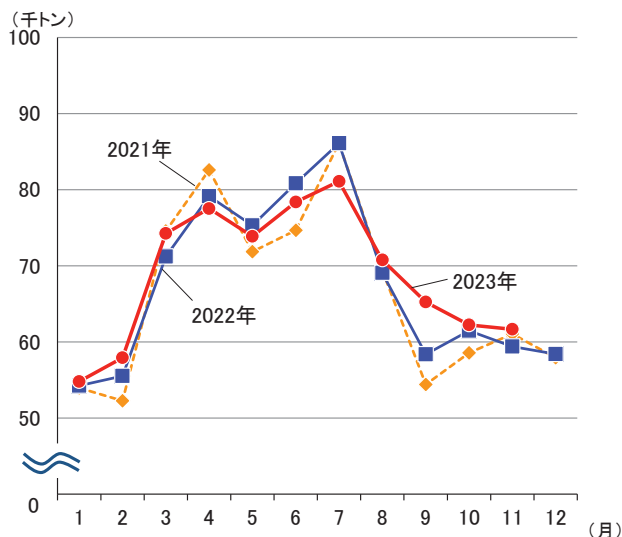
同50%以上60%未満 4万4650トン

(同6.4%増、同1.5%減)

同60%以上 553トン

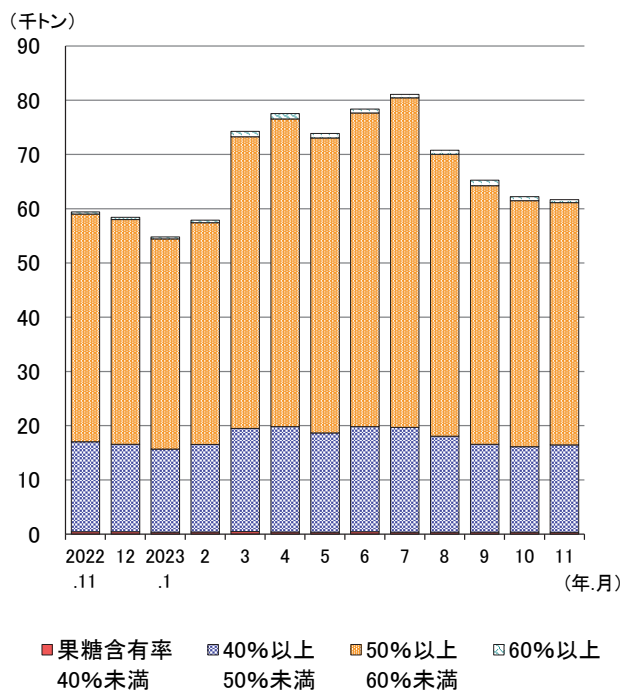
(同49.7%増、同24.5%減)

図9 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図10 異性化糖の種類別移出量の推移



4 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

11月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京	1キログラム当たり239～241円
大阪	同239～241円
名古屋	同242円
関門	同244円

上白糖（小袋）

東京	1キログラム当たり251～255円
大阪	同254～255円

本グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり244～246円
大阪	同244～246円
名古屋	同247円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり239～241円
大阪	同239～241円
名古屋	同240円

11月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり166～167円

果糖分55%もの

同172～173円

【小売価格】

11月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で40.0円

KSP-POSデータ（全国501店舗）によると、スーパーにおける11月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、247.6円（前年同月差33.1円高、前月差2.1円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった関東などとの価格差は40.0円であった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

- 関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県
- 首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県
- 中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県
- 関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（11月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	267.6	52.0	12.6
東北	269.7	38.2	6.9
関東など	229.7	32.8	0.6
首都圏	237.0	33.0	▲ 0.5
中部	233.6	25.1	0.8
関西	239.7	27.5	1.1
中国・四国	269.6	40.3	1.0
九州・沖縄	247.0	27.4	2.3
全平均	247.6	33.1	2.1

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国501店舗〉）
 注1：価格は、消費税抜きの価格である。
 注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
 注3：前年同月価格差および前月価格差は、KSP-POSデータ内における価格差である。

11月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で61.7円

KSP-POSデータ（全国501店舗）によると、スーパーにおける11月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、300.7円（前年同月差33.3円高、前月差2.7円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった関西との価格差は61.7円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（11月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	281.1	57.0	17.9
東北	332.6	31.8	4.1
関東など	292.6	18.2	0.6
首都圏	315.9	36.2	1.2
中部	300.5	28.9	1.5
関西	270.9	18.8	3.2
中国・四国	321.7	46.3	2.4
九州・沖縄	291.9	35.0	▲ 3.3
全平均	300.7	33.3	2.7

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国501店舗〉）
 注1：価格は、消費税抜きの価格である。
 注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
 注3：前年同月価格差および前月価格差は、KSP-POSデータ内における価格差である。

11月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で55.1円

KSP-POSデータ（全国501店舗）によると、スーパーにおける11月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、286.8円（前年同月差34.1円高、前月差0.4円高）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関東などとの価格差は55.1円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（11月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	283.0	26.9	▲ 5.4
東北	305.6	26.9	5.3
関東など	263.8	29.8	0.2
首都圏	275.9	37.1	0.1
中部	287.3	30.9	0.0
関西	274.5	24.9	0.7
中国・四国	318.9	47.1	1.7
九州・沖縄	276.4	42.1	1.3
全平均	286.8	34.1	0.4

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国501店舗〉）
 注1：価格は、消費税抜きの価格である。
 注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
 注3：前年同月価格差および前月価格差は、KSP-POSデータ内における価格差である。

【支出金額および購入数量】

10月の砂糖の支出金額は前年同月からかなりの程度上昇

総務省「家計調査」によると、2023年10月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は30回、1世帯（二人以上）当たりの支出金額は85円（前年同月比6.3%高、前月比19.7%高）であった（図11）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、268グラム（同16.5%減、同9.8%増）であった（図12）。

図11 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移

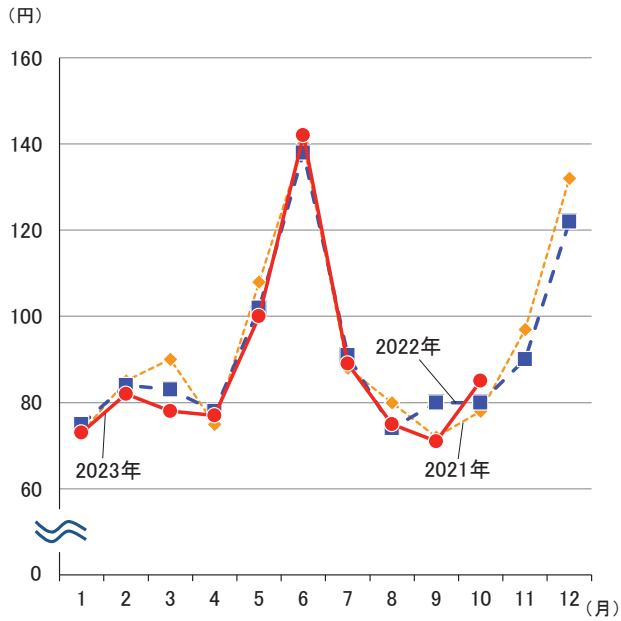


図12 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移

